

## 2023年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2022年11月4日

上場会社名 株式会社ジーテクト 上場取引所 東  
 コード番号 5970 URL <https://www.g-tekt.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 社長執行役員 (氏名) 高尾 直宏  
 問合せ先責任者 (役職名) 財務部長 (氏名) 木村 誠 TEL 048-646-3400  
 四半期報告書提出予定日 2022年11月11日 配当支払開始予定日 2022年12月5日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有  
 四半期決算説明会開催の有無：有（機関投資家・アナリスト向け）

（百万円未満切捨て）

### 1. 2023年3月期第2四半期の連結業績（2022年4月1日～2022年9月30日）

（1）連結経営成績（累計）（%表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第2四半期	154,796	47.2	7,200	102.3	9,404	132.5	6,940	116.7
2022年3月期第2四半期	105,137	15.5	3,560	611.2	4,044	891.5	3,203	—

（注）包括利益 2023年3月期第2四半期 15,031百万円（613.5%） 2022年3月期第2四半期 2,106百万円（563.5%）

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第2四半期	161.46	—
2022年3月期第2四半期	74.59	—

### （2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年3月期第2四半期	292,563	177,725	56.5
2022年3月期	282,540	163,924	53.9

（参考）自己資本 2023年3月期第2四半期 165,362百万円 2022年3月期 152,292百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	—	28.00	—	28.00	56.00
2023年3月期	—	29.00	—	—	—
2023年3月期（予想）	—	—	—	29.00	58.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 2023年3月期の連結業績予想（2022年4月1日～2023年3月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	324,000	37.0	14,100	29.0	16,200	29.3	11,500	29.5	267.46

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無  
新規 ー社（社名）ー、除外 ー社（社名）ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

（注）詳細は、添付資料11ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記（4）四半期連結財務諸表に関する注記事項（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2023年3月期2Q	43,931,260株	2022年3月期	43,931,260株
② 期末自己株式数	2023年3月期2Q	921,176株	2022年3月期	959,008株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2023年3月期2Q	42,983,653株	2022年3月期2Q	42,943,475株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

・四半期決算補足説明資料については、当社IR情報サイト（URL <https://www.g-tekt.jp/ir/index.html>）を併せてご参照ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	5
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	6
(1) 四半期連結貸借対照表	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	8
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	8
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	9
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	10
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	11
(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)	11
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	11
(会計方針の変更)	11
(会計上の見積りの変更)	11
(セグメント情報等)	12

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における世界経済情勢は、コロナ対策のための拡張的な財政金融政策、その後の経済回復に伴う需要逼迫と供給制約を主因として、労働需給逼迫や資源エネルギー価格高騰が続いています。これに対し各国中央銀行は、急速な金融引き締めへ転じており、為替市場はドルが高騰し、歴史的な円安傾向が続いています。さらにウクライナ侵攻の長期化など地政学リスクも加わり、景気下振れが懸念されています。

自動車業界においては、半導体供給制約や中国上海ロックダウンなどサプライチェーンが混乱し、完成車メーカーの生産調整が相次ぎました。また、EV化は急速に進んでおり競争が激化しております。

当社はこのような外部環境の中、新経営戦略の「地球環境への対応」「EV関連事業の確立」「人材の多様性向上」「既存事業の変革」を着実に推進してきました。日本を中心にEV関連部品の開発から実証段階に進み、既存事業では製造ラインでの品質保証の自動化を推進しています。欧州ではEV専門のテスラ社からEV車体部品を受注し、当社欧州拠点での生産を開始する予定です。

当第2四半期連結累計期間の業績は、減産影響はありましたが、材料単価改定や為替影響などがあり、売上高は154,796百万円（前年同期比47.2%増）、利益につきましては、積極的な自動化による生産性向上や非量産売上のコスト改善などの効果により、営業利益は7,200百万円（前年同期比102.3%増）となりました。経常利益は為替差益や持分法利益などにより9,404百万円（前年同期比132.5%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は6,940百万円（前年同期は3,203百万円の純利益）となりました。

報告セグメントごとの業績は次のとおりであります。

## ①日本

(単位：百万円)

	前第2四半期 連結累計期間	当第2四半期 連結累計期間	前期比増減額	前期比増減率
売上高	19,958	28,652	8,693	43.6%
営業利益又は損失(△)	△1,203	226	1,430	-

前期との主な増減要因

売上高 材料単価改定や生産台数の回復による量産売上の増加、及び型設備売上の増加により増収となった。

営業利益 増産影響に加え、型設備利益改善及び原価低減により黒字転換した。

## ②北米

(単位：百万円)

	前第2四半期 連結累計期間	当第2四半期 連結累計期間	前期比増減額	前期比増減率
売上高	33,180	53,067	19,886	59.9%
営業損失(△)	△987	△292	694	-

前期との主な増減要因

売上高 減産の一方、材料単価大幅改定や為替影響による量産売上増加、CR-V量産立上げに伴う型設備売上の増加等により増収となった。

営業損失 減産に加え、労務費はじめ物価高騰の影響が深刻だが、コストコントロールによる体質改善に努め、型設備の利益改善により、第2四半期では黒字転換し、累計期間での営業損失が縮小した。

## ③欧州

(単位：百万円)

	前第2四半期 連結累計期間	当第2四半期 連結累計期間	前期比増減額	前期比増減率
売上高	10,084	12,570	2,485	24.6%
営業利益	2,152	1,849	△302	△14.1%

## 前期との主な増減要因

売上高 量産拡大及び打切り補償等により増収。スロバキア拠点の生産が予定規模に達し売上に寄与した。  
 営業利益 欧州における価格高騰に対しコスト削減をおこない、スロバキアの収益貢献や非量産の収益改善もあり、前期に計上した撤退補償を除くと前期比実質増益となった。

## ④アジア

(単位：百万円)

	前第2四半期 連結累計期間	当第2四半期 連結累計期間	前期比増減額	前期比増減率
売上高	12,606	19,770	7,164	56.8%
営業利益	404	541	137	34.1%

## 前期との主な増減要因

売上高 主要得意先の減産があったが、他社向けが増産となり、材料単価改定もあって量産売上が増加し、型設備売上の増加もあり増収となった。  
 営業利益 増産対応に伴い労務費及び経費が増加したが、増収効果により増益となった。

## ⑤中国

(単位：百万円)

	前第2四半期 連結累計期間	当第2四半期 連結累計期間	前期比増減額	前期比増減率
売上高	29,036	40,262	11,225	38.7%
営業利益	2,306	3,178	871	37.8%

## 前期との主な増減要因

売上高 得意先の減産があったが、他社向け量産拡大及び為替影響等により増収となった。  
 営業利益 労務費増加があったが、増産による増収効果や打切り補償及び販管費抑制効果等により増益となった。

## ⑥南米

(単位：百万円)

	前第2四半期 連結累計期間	当第2四半期 連結累計期間	前期比増減額	前期比増減率
売上高	4,964	9,166	4,202	84.7%
営業利益	966	1,612	646	66.9%

## 前期との主な増減要因

売上高 量産材料価格改定、トヨタ向け量産拡大、非量産売上の増加により増収となった。  
 営業利益 増産対応から労務費及び経費の増加があったが、増収効果や歩留まり改善などにより増益となった。

## (2) 財政状態に関する説明

## ①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末より10,022百万円増加し、292,563百万円となりました。これは主に、建物及び構築物（純額）及び機械装置及び運搬具（純額）の増加によるものです。

負債合計は、前連結会計年度末より3,778百万円減少し、114,837百万円となりました。これは主に、借入金の減少によるものです。

純資産合計は、前連結会計年度末より13,801百万円増加し、177,725百万円となりました。これは主に、利益剰余金及び為替換算調整勘定の増加によるものです。

## ②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ、2,801百万円減少し、33,167百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間におけるキャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

## （営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動のキャッシュ・フローは、23,622百万円の収入となりました。主な収入は、税金等調整前四半期純利益9,477百万円、減価償却費8,477百万円、棚卸資産の減少5,761百万円です。

前年同四半期連結累計期間に対して15,141百万円の増加となりました。主な要因は、売上増加に伴う税金等調整前四半期純利益の増加、棚卸資産の減少によるものです。

## （投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動のキャッシュ・フローは、12,064百万円の支出となりました。主な支出は、有形固定資産の取得による8,822百万円です。

前年同四半期連結累計期間に対して3,254百万円の支出増加となりました。主な要因は、新機種への投資に伴う有形固定資産の取得による支出増加です。

## （財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動のキャッシュ・フローは、15,335百万円の支出となりました。主な支出は、短期借入金の返済6,657百万円、長期借入金の返済10,144百万円、配当金の支払額1,214百万円です。

前年同四半期連結累計期間に対して15,739百万円の支出増加となりました。主な要因は、借入金の返済です。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

最近の業績動向等を踏まえ、2022年5月13日に公表した2023年3月期(2022年4月1日～2023年3月31日)の通期連結業績予想を修正することといたしました。

## ①2023年3月期通期連結業績予想数値の修正(2022年4月1日～2023年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 314,000	百万円 13,100	百万円 13,600	百万円 9,700	円 銭 225.73
今回修正予想 (B)	324,000	14,100	16,200	11,500	267.46
増減額 (B-A)	10,000	1,000	2,600	1,800	—
増減率 (%)	3.2%	7.6%	19.1%	18.6%	—
(ご参考)前期通期実績 (2022年3月期)	236,503	10,931	12,532	8,878	206.68

## ②修正の理由

当初想定を上回る第2四半期累計実績を踏まえ、第3四半期以降は、為替換算影響はあるものの、不透明な外部環境及び直近の自動車生産動向を慎重に見積もり、2023年3月期通期の連結業績につきましては、上記の通り修正いたします。

上記の業績見通しは、現時点での入手可能な情報に基づく将来予測が含まれており、当社としてその実現をお約束するものではありません。実際の業績は、今後の事業運営や為替変動等の内外の状況の変化により、予想数値と大幅に異なる可能性があります。

なお、主要通貨の第3四半期以降の想定為替レートは、米ドル135.00円、人民元20.00円です。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	40,685	41,371
受取手形及び売掛金	51,230	52,112
製品	1,908	2,177
仕掛品	29,081	23,757
原材料	3,872	5,124
貯蔵品	1,297	1,426
その他	8,374	10,211
流動資産合計	136,450	136,181
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	57,773	62,893
機械装置及び運搬具（純額）	38,645	43,620
工具、器具及び備品（純額）	11,627	13,247
土地	13,342	13,946
建設仮勘定	12,677	9,970
有形固定資産合計	134,067	143,678
無形固定資産	1,416	1,278
投資その他の資産		
投資有価証券	8,518	9,176
その他	2,088	2,247
投資その他の資産合計	10,606	11,424
固定資産合計	146,090	156,381
資産合計	282,540	292,563
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	30,394	36,552
短期借入金	22,247	17,715
1年内返済予定の長期借入金	12,414	9,846
未払金	6,773	6,960
未払法人税等	1,610	1,171
賞与引当金	1,424	2,088
その他	6,301	5,303
流動負債合計	81,165	79,638
固定負債		
長期借入金	29,019	25,133
退職給付に係る負債	1,048	1,757
役員株式給付引当金	438	422
その他	6,943	7,885
固定負債合計	37,450	35,198
負債合計	118,615	114,837

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	4,656	4,656
資本剰余金	23,635	23,635
利益剰余金	103,677	109,402
自己株式	△1,707	△1,649
株主資本合計	130,261	136,045
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,285	968
繰延ヘッジ損益	1	△175
為替換算調整勘定	20,363	28,667
退職給付に係る調整累計額	380	△143
その他の包括利益累計額合計	22,031	29,317
非支配株主持分	11,631	12,363
純資産合計	163,924	177,725
負債純資産合計	282,540	292,563

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
売上高	105,137	154,796
売上原価	95,222	140,013
売上総利益	9,914	14,782
販売費及び一般管理費	6,354	7,581
営業利益	3,560	7,200
営業外収益		
受取利息	140	301
受取配当金	55	77
為替差益	159	1,394
持分法による投資利益	173	540
その他	225	361
営業外収益合計	754	2,675
営業外費用		
支払利息	235	456
その他	34	16
営業外費用合計	269	472
経常利益	4,044	9,404
特別利益		
固定資産売却益	33	79
投資有価証券売却益	3	27
特別利益合計	36	107
特別損失		
新型コロナウイルス感染症関連損失	—	33
特別損失合計	—	33
税金等調整前四半期純利益	4,081	9,477
法人税等	1,114	2,633
四半期純利益	2,967	6,843
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△235	△96
親会社株主に帰属する四半期純利益	3,203	6,940

(四半期連結包括利益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
四半期純利益	2,967	6,843
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	120	△317
繰延ヘッジ損益	—	△176
為替換算調整勘定	△985	8,401
退職給付に係る調整額	△38	△524
持分法適用会社に対する持分相当額	42	804
その他の包括利益合計	△860	8,187
四半期包括利益	2,106	15,031
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,702	14,226
非支配株主に係る四半期包括利益	△596	805

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	4,081	9,477
減価償却費	7,577	8,477
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△77	121
賞与引当金の増減額 (△は減少)	535	626
受取利息及び受取配当金	△196	△379
支払利息	235	456
持分法による投資損益 (△は益)	△173	△540
投資有価証券売却損益 (△は益)	△3	△27
固定資産除売却損益 (△は益)	△33	△79
売上債権の増減額 (△は増加)	7,223	1,326
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△4,667	5,761
仕入債務の増減額 (△は減少)	△1,436	2,566
未収又は未払消費税等の増減額 (△は減少)	△297	△396
前受金の増減額 (△は減少)	△1,735	△1,532
未払金の増減額 (△は減少)	△310	66
その他	△240	273
小計	10,481	26,195
利息及び配当金の受取額	252	539
利息の支払額	△273	△457
法人税等の支払額又は還付額 (△は支払)	△1,979	△2,654
営業活動によるキャッシュ・フロー	8,480	23,622
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の純増減額 (△は増加)	△1,535	△3,302
有形固定資産の取得による支出	△7,154	△8,822
有形固定資産の売却による収入	37	82
無形固定資産の取得による支出	△118	△40
投資有価証券の取得による支出	△36	△44
投資有価証券の売却による収入	5	92
その他	△8	△29
投資活動によるキャッシュ・フロー	△8,810	△12,064
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	6,094	△6,657
長期借入れによる収入	1,174	3,000
長期借入金の返済による支出	△5,702	△10,144
割賦債務及びファイナンス・リース債務の返済による支出	△76	△244
配当金の支払額	△1,085	△1,214
非支配株主への配当金の支払額	—	△73
財務活動によるキャッシュ・フロー	404	△15,335
現金及び現金同等物に係る換算差額	△354	976
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△278	△2,801
現金及び現金同等物の期首残高	25,970	35,968
現金及び現金同等物の四半期末残高	25,691	33,167

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

前第2四半期連結累計期間(自2021年4月1日至2021年9月30日)

該当事項はありません。

当第2四半期連結累計期間(自2022年4月1日至2022年9月30日)

該当事項はありません。

(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)

(連結子会社の事業年度等に関する事項の変更)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(会計方針の変更)

該当事項はありません。

(会計上の見積りの変更)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自2021年4月1日至2021年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						合計
	日本	北米	欧州	アジア	中国	南米	
売上高							
外部顧客への売上高	16,761	32,944	9,949	12,600	27,917	4,963	105,137
セグメント間の内部売上高又は振替高	3,197	235	135	5	1,119	0	4,693
計	19,958	33,180	10,084	12,606	29,036	4,964	109,831
セグメント利益又は損失(△)	△1,203	△987	2,152	404	2,306	966	3,637

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	3,637
セグメント間取引消去等	△77
四半期連結損益計算書の営業利益	3,560

II 当第2四半期連結累計期間(自2022年4月1日至2022年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						合計
	日本	北米	欧州	アジア	中国	南米	
売上高							
外部顧客への売上高	20,757	52,876	12,444	19,746	39,804	9,166	154,796
セグメント間の内部売上高又は振替高	7,894	190	125	24	458	—	8,693
計	28,652	53,067	12,570	19,770	40,262	9,166	163,489
セグメント利益又は損失(△)	226	△292	1,849	541	3,178	1,612	7,116

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	7,116
セグメント間取引消去等	84
四半期連結損益計算書の営業利益	7,200